

## 南予地域柑橘農業復興対策チーム第2回会議の内容

〔平成30年8月20日(月)13:30～  
南予地方局7階大会議室〕

### 1 短期的復旧対策について

#### (1) 農業用施設(農業水利施設、道路)の復旧状況

##### ○県

8月13日現在の農林水産関係の被害状況について説明。

吉田町配水施設の被害状況、復旧状況について説明。

八幡浜支局管内の配水施設の被害状況、復旧状況について説明。

##### ○宇和島市

宇和島市から市道の応急仮復旧状況について説明

#### (2) 構成団体ごとの取り組み状況

##### ○県

「みかんボランティア」の実施状況、軽トラックレンタル制度の創設等について報告

##### ○JAえひめ南

新たに復興支援チームを設置した。吉田地区で補助事業説明会を開催、今後、各地区で開催する予定。ドローン防除については各地区で実施。また、軽トラックレンタル制度について要望を調査。希望者あり。

##### ○JAひがしうわ

災害復旧のボランティア受入団体(畜産を含む。)を立ち上げた。9月から受入できるよう準備を進めている。

明浜町で約500か所の土砂崩れ。被害箇所の確認を終えたので、今後は対応を協議していく。

##### ○JAにしうわ

各農家の被害調査を集計中。また、モノレールの復旧の意向についても調査中。

##### ○伊方町

各農家の被害状況について調査中。

##### ○八幡浜市

被害に関する予算を専決で対応。

各農家の被害状況について調査中。調査結果から約4億1千万円の被害となる見込み。

##### ○西予市

明浜地区のモノレールの調査完了。災害査定に向けた農家の申請を受け付ける。

##### ○宇和島市

営農相談所を設置して被害状況を調査している。

8月補正で9億3千万円の専決予算を計上した。

#### (3) 復旧対策スケジュールの素案

##### ○県

宇和島市(吉田地区)の復旧・復興に向けた当面の行程について説明。

エリア設定について意見を聞き、JAの支所単位とすることで合意を得る。

## 2 中長期対策について

### (1) 農地中間管理機構関連農地整備の活用に向けた作業

○県

農地、農業用施設の災害復旧行程(案)について説明

### (2) 「つなぎ営農事業」に向けた作業

○県

被災された方、自らからが苗木を育苗する場合等、被災された農家を支援できる仕組みを検討していきたい。今後つなぎ営農が必要な方がどれくらいいるのか把握が必要。

復興に向けたひとつのメニューとして考えたい。

国にも働きかけを行っており、被災した農家が復興に意欲的に取り組めるようにしたい。